

## 今後の進め方

## 1. 全体の進め方（別添1）

- 「1. 設計条件及び評価判断基準」に当たる再処理施設及び廃棄物管理施設の入力地震動の策定を優先して説明を進める。入力地震動の策定の結果を踏まえ、「2. 具体的な設備等の設計」に係る対応として、設計用地震力（FRS等）、耐震計算を行い、その結果を「3-2：評価判断基準等との照合」（共通12等）に展開する。
- 第1回申請で入力地震動の策定を実施したMOX燃料加工施設を対象に共通12による「2. 具体的な設備等の設計」等に係る設備の構造等の類似性を踏まえた類型化及び複数の類型分類や類型内での代表による構造設計の説明、構造設計等として説明すべき内容等の説明方針の整理を行うとともに、設定した説明グループの順に構造設計等の説明を行う。
- 再処理施設及び廃棄物管理施設についても「1. 設計条件及び評価判断基準」の説明と並行して対応可能な（1.の内容が直接影響しない）「2. 具体的な設備等の設計」の構造設計等の説明を行う。また、「2. 具体的な設備等の設計」に係る説明を行うために、基本設計方針等での要求事項及びそれを展開する構造設計等の設計項目の整理、設計基準対象施設と重大事故等対処設備で共通的に説明可能な項目等の整理を行う。
- 「2. 具体的な設備等の設計」のうち「2-2：解析・評価等」、「3-2：評価判断基準等との照合」については、計算（評価）としての類似性を踏まえた類型化、類型を踏まえた計算書作成方針や計算書の記載方針等の体系的な整理を共通12を用いて行い、計算（評価）方針等に反映する。
- 共通12による構造設計等を踏まえた添付書類等での設計方針としての記載等の整理結果を申請書の構成等を踏まえた00資料に反映し、申請書全体としての構成等の確認を行う。

## 2. 今後の審査会合での説明方針

- 1. を踏まえ至近での審査会合での説明の進め方としては、以下のとおり考えている。
  - 10月審査会合
    - ・ **1. 設計条件及び評価判断基準**：「地震観測記録による減衰定数の検討（東側地盤）」、「追加調査の進捗状況」
    - ・ **2. 具体的な設備等の設計（2-1：システム設計、構造設計等）**：再処理、廃棄物管理の設計説明分類、説明グループの設定、MOX説明グループ1に係る構造設計等の説明
  - 11月審査会合
    - ・ **1. 設計条件及び評価判断基準**：「地震観測記録による減衰定数の検討（西側地盤）」、「追加調査の進捗状況」
    - ・ **2. 具体的な設備等の設計（2-1：システム設計、構造設計等）**：MOX説明グループ1に係る構造設計等の説明及び「**2-2：解析・評価等**」に係る整理方針
  - その後（準備整い次第）の審査会合
    - ・ 「追加調査結果」、「地盤の実態を考慮したパラメータの設定結果」及び「基本地盤モデル設定結果」
    - ・ 「再処理、廃棄物管理の説明グループ1」、「MOX説明グループ2」等

### 3. 各活動の実施状況及び当面の進め方

#### 3. 1 具体的な設備等の設計（共通 12）に係る進め方

- 「1. 今後の審査会合での説明方針」を達成するため「具体的な設備等の設計（共通 12）」について、複数のタスクを関連性をもって進める。至近の対応が必要な事項の対応は以下のとおり。

- 「2. 具体的な設備等の設計（2-1：システム設計、構造設計等）」に係る検討を実施。

- ◆ MOX 説明グループ 1 を例とした共通 1 2 各資料での記載事項の整理
- ◆ 再処理施設、廃棄物管理施設の設計説明分類・説明グループの設定
- ◆ 要求事項を踏まえた構造設計等と解析・評価等での説明事項の仕分け、DB/SA の共通事項の整理等（溢水、竜巻等）
  - ✓ 「竜巻による損傷の防止に係る対応方針」、「溢水・化学薬品の漏えいによる損傷の防止に係る設計方針」に係るタスクにおいて竜巻、溢水等の条文要求を踏まえた整理を実施。共通 1 2 資料 2 における 8 条、12 条と 36 条の関係性の記載方針の整理に展開。（10 月 2 日資料提出、10 月 5 日ヒア）

- 「2. 具体的な設備等の設計（2-2：解析・評価等）」に係る整理

- ◆ 資料 4 における説明ロジックの整理（設工認 計算（評価）方針、計算書（評価書）との紐づけ等）
  - ✓ 本資料別添 2 に資料 4 における整理方針を示す。今後、共通 1 2 本文等に反映。

#### 3. 2 耐震関係（入力地震動の策定）の進め方

- 「1. 今後の審査会合での説明方針」を達成するため、以下の項目についての検討を進める。

検討内容はすべて耐震建物 08 に反映することとし、以下のスケジュールでの対応を行う。

##### （1）全体シナリオの策定、4 因子に対する検討（追加調査に関連する検討以外）

- これまでのヒアリングでの議論を踏まえて耐震建物 08 の修正を実施。
- 特に、「地震観測記録による減衰定数の検討（東側地盤、西側地盤）」に係る検討内容を追加。
  - ✓ 耐震建物 08（西側地盤減衰以外）：10 月 2 日資料提出 10 月 6 日・10 日ヒア
  - ✓ 耐震建物 08（西側地盤減衰）：10 月 19 日資料提出 10 月 27 日ヒア
    - ・ 西側地盤減衰の検討状況：伝達関数による検討は～10/6 で観測記録シミュレーション解析実施。また、地震波干渉法による検討結果のデータおよび分析結果取りまとめ中。
  - ✓ 耐震建物 08（ヒアコメント反映）：11 月 10 日資料提出 11 月 21 日ヒア  
→その後必要に応じて追加資料提出／ヒアのステップを希望

##### （2）追加ボーリング調査の実施（～12/E）、並行して得られたデータの分析

- 追加調査の進捗状況については、実施状況を踏まえて都度報告。
- 追加調査結果については、12/E 以降に耐震建物 08 に反映し資料提出。

##### （3）「地盤の実態を考慮したパラメータ」の設定→基本地盤モデルの設定

- 追加調査結果の分析踏まえ、検討結果まとめ次第資料提出

##### （4）入力地震動の策定（その後、設計用地震力（FRS 等）の設定・耐震計算）

- 策定した基本地盤モデルに基づき入力地震動を策定。検討まとめ次第資料提出

以上

1. 設計条件及び評価判断基準

2. 具体的な設備等の設計

3. 具体的な設備等の設計と評価判断基準との照合

【2-1：システム設計、構造設計等】

【3-1：設計要求等との照合】

- ・ 共通12の目的、共通12における具体的な設備等の設計に係る全体像等
- ・ MOX説明グループ1を例とした共通12各資料での記載事項の整理
- ・ 設計説明分類・説明グループの設定、要求事項を踏まえた構造設計等と解析・評価等での説明事項の仕分け、DB/SAの共通事項の整理等（溢水、竜巻等）

※2/3頁参照

共通12（資料1～3）、個別補足説明資料

※3/3頁参照

00資料への反映（別紙1、別紙4、別紙5等）

【2-2：解析・評価等】

【3-2：評価判断基準等との照合】

- ・ 資料4における説明ロジックの整理（（設工認 計算（評価）方針、計算書（評価書）との紐づけ等）
- ・ MOX説明グループ1を例とした共通12での記載事項の整理

※2/4頁参照

申請書不備に係る原因、対策

申請書への反映

(2-2) 共通12（資料4）、計算（評価）方針等  
(3-2) 計算書（評価書）、個別補足説明資料

※計算結果を反映

00資料への反映（別紙1、別紙4、別紙5等）

入力地震動の策定

- ・ 地震観測記録による減衰定数の検討
- ・ 表層物性に係る検討
- ・ 追加データ調査の結果を踏まえた検討
- ・ 基本地盤モデルの設定
- ・ 入力地震動の策定

設計用地震力（FRS等）、耐震計算

- ・ 入力地震動の設定結果を踏まえた設計用地震力（FRS等）の評価
- ・ 設計用地震力に基づく建屋、機器等の耐震計算等の実施

共通 1 2 関連として説明する事項及びその関係性

(2/3)

設計説明分類、説明グループ、主条文、関連条文の整理、合わせて評価等を行う項目に係る設計基準と重大事故で共通する構造設計等の整理（共通 1 2 資料 2 での条文間の関係性）  
再処理説明グループ 1 の対象条文に対しても上記整理を実施

**共通 1 2（本文、全体の整理方針）**

**共通 1 2（説明グループ 1 構造設計等（2-1））**

- ・共通12の目的、共通12で整理する事項の全体像等（対応方針1.1①、②）
- ・設計説明分類・説明グループの設定、構造設計等と解析・評価等で示す事項の整理、DB/SAの類似となる設計方針の整理等（対応方針1.1③、④、⑤）
- ・閉じ込めを主条文とするグローブボックス、グローブボックスの構造設計に関する耐震の条文、グローブボックスの負圧維持に係る換気設備のシステム設計、グローブボックスの耐震設計等に係る機械装置・搬送装置等の構造設計等を併せて説明（関連する個別補足説明資料を含む）

ヒアリング予定等：9/15（共通12本文等）、10/5（共通12本文等）、11/2（説明グループ1）～

**共通 1 2（説明グループ 2 構造設計等（2-1））**

（資料提出）11月上旬～

**共通 1 2（本文、全体の整理方針）**

- ・資料4に係る記載方針等の整理（対応方針1.1⑥）

ヒアリング予定等：9/29、10/6（今後の進め方ヒア）～  
※別添 2 参照

**共通 1 2（説明グループ 1 解析・評価等（2-2））**

**溢水、化学薬品の漏えいに係る設計方針の整理**

- ・溢水の要求事項を踏まえた構造設計等と解析・評価等で示す事項の整理（資料2、3、4 関連）
  - 評価対象の選定、止水板・蓋の設計の考え方等の整理
- ・合わせて設計、評価等を示す項目に係る設計基準と重大事故で共通する構造設計等の整理（資料2 関連）

ヒアリング予定等：9/14（対応方針）、9/22（対応方針）、10/5（構造設計等と解析・評価等で示す事項の整理等）～

**共通 1 2 の説明（設計説明分類：内的事象 溢水対策設備、防護対象設備等）**

（資料3での構造設計等に個別補足説明資料を含む）

（資料提出）11月下旬～

- ・重大事故等に係る健全性説明書、個別施設説明書での記載事項の整理
- ・設計基準と併せて評価等を行う項目に係る健全性説明書、子添付で重大事故として示す設計方針の整理

**竜巻防護対策設備等に係る設計方針の整理**

- ・竜巻の要求事項を踏まえた基本設計方針を踏まえた評価要求と構造設計等の設計項目の整理（資料2、3、4 関連）
- ・合わせて設計、評価等を示す項目に係る設計基準と重大事故で共通する構造設計等の整理（資料2 関連）
- ・開口等の竜巻防護に関連する設備の構造概要

ヒアリング予定等：9/11（対応方針）、9/22、10/5（基本設計方針を踏まえた評価要求と構造設計等の設計項目の整理等）～

**共通 1 2 の説明（設計説明分類：外的事象 対策設備、防護対象設備等）**

（竜巻、火山、その他等の外部衝撃等に係る資料3での構造設計等に関連する個別補足説明資料を含む）

（資料提出）11月上旬～

共通 1 2 (本文、全体の整理方針)

溢水及び化学薬品漏えいに係る設計方針の整理

竜巻に係る設計方針の整理

設計説明分類・説明グループの設定  
(共通 1 2に係る対応方針 1.1③)

設計説明分類・説明グループの設定に係る溢水  
側の整理 (溢水及び化学薬品の漏えいによる  
損傷の防止に係る対応方針 1.1③)

iii. SAを含む構造設計等に係る説明の類型化、  
代表による説明に係る整理 (竜巻による損傷防  
止に係る対応方針 1.1③)

※9月21 (今後の進め方ヒア資料別添 2)、28日資料提出

- ➡設計説明分類の設定の考え方整理 (21日、28日)
- ➡設計説明グループの考え方、各説明グループにおける説  
明事項の仕分け、網羅性の説明 (28日)

※別添 2 参照

※10月2日資料提出

DB/SAの類似となる設計方針の整理方針  
(共通 1 2に係る対応方針 1.1⑤)

ii. DB/SAの類似となる設計方針の整理  
(溢水及び化学薬品の漏えいによる損傷の防止に  
係る対応方針 1.1②)

ii. DB/SAの類似となる設計方針の整理  
(竜巻による損傷防止に係る対応方針 1.1②)

※10月17日資料提出

※10月2日資料提出

※10月2日資料提出

- ➡溢水、竜巻に係るタスクでの成果を踏まえ  
て説明グループ 1 に係る他の類似設計方針  
の整理 (説明グループ 1 (再処理) に係る  
対応方針)
- ➡上記方針を本文に反映

基本設計方針の要求種別を踏まえた設  
計項目の設定  
(共通 1 2に係る対応方針 1.1④)

i. 構造設計等と解析・評価等で示す事項の整理  
(溢水及び化学薬品の漏えいによる損傷の防止に  
係る対応方針 1.1①)  
【許可整合、説明すべき項目を漏れなく抽出するた  
めの整理】

i. 構造設計等と解析・評価等で示す事項の整理  
(竜巻による損傷防止に係る対応方針 1.1①)

※10月2日、中旬資料提出

※10月2日資料提出

## 別添 2 共通 1 2 資料 4 に係る記載方針等の整理 (1/7)

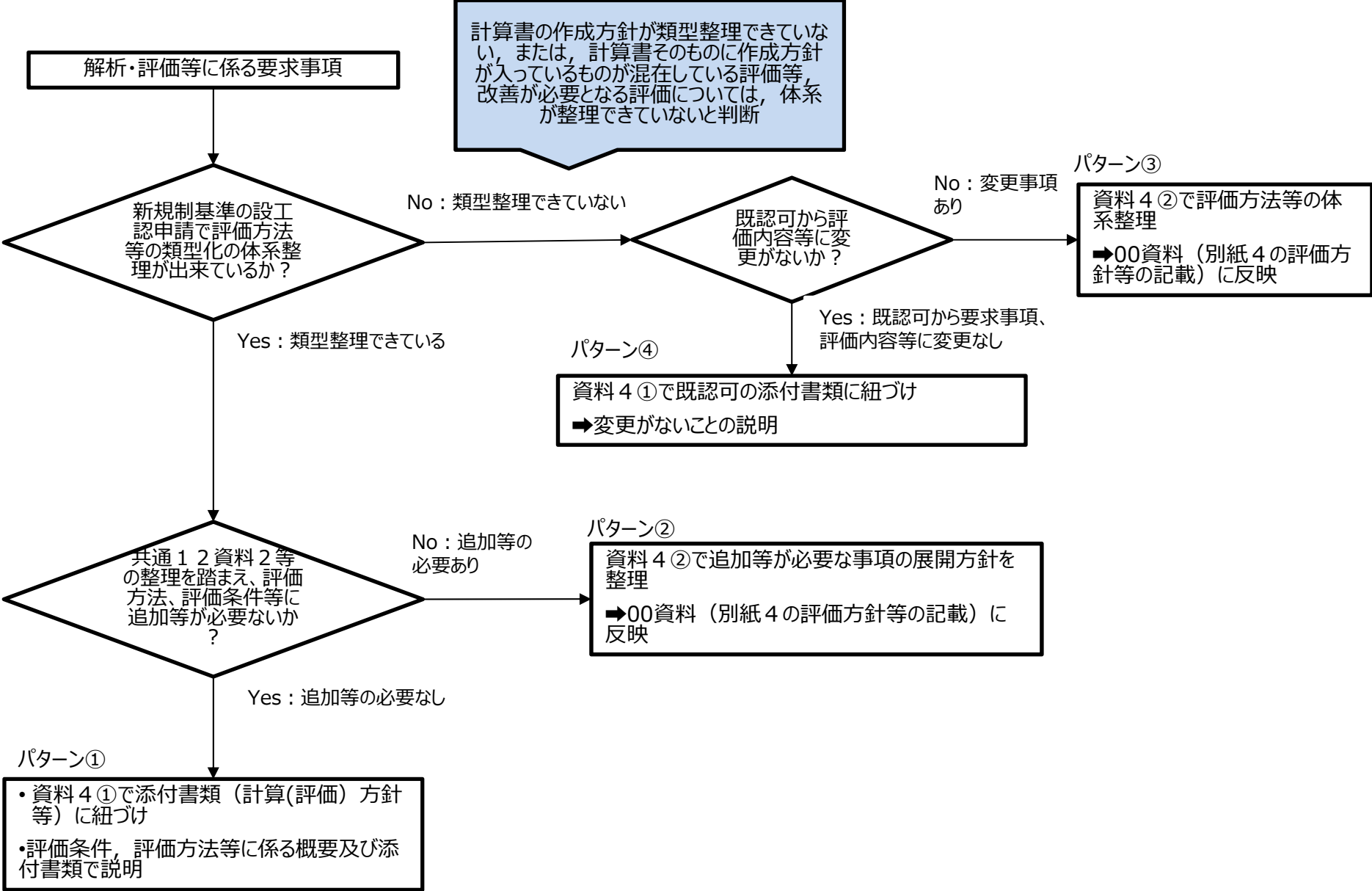
- 「解析・評価等」の具体の設備等の設計については、評価に係る説明すべき項目を整理し、その説明すべき項目に対して具体の設備等の設計として評価方法、評価条件の根拠について説明を行い評価の妥当性を説明する。
- 「解析・評価等」に係る類型化等については、以下のパターンに分類されると考えている。

- ① 新規制基準を受けた設工認で添付書類において評価方法等による類型化の体系整理が出来ているもの
- ② 共通 1 2 資料 2 等の整理を踏まえ、評価方法、評価条件等に追加等が必要なもの
- ③ 評価方法等による類型化の体系整理が出来ていないもの
- ④ 既認可から評価内容等に変更がないもの

※①：材料・構造の強度計算等、②：耐震計算等、③：MOX 臨界評価等、④：再処理 臨界評価、遮蔽等

- ①：資料 2 等から「設計項目」の評価に係る事項を資料 4 ①で整理し、添付書類の計算（評価）方針（作成方針）、計算書（評価書）等と紐づけし、資料4②-1において評価方法等々の体系についての概要を説明し、具体の説明は当該書類を用いて行う。
- ②：資料 4 ② -2で現状の計算（評価）方針（作成方針）等に追加等が必要な項目の整理し、具体的な計算（評価）結果と紐づける。
- ③：資料 2 等から「設計項目」の評価に係る事項を資料 4 ①で整理し、資料 4 ②-2で計算（評価）方針等として示す事項を整理し、具体的な計算（評価）結果と紐づけるとともに、記載事項を整理する。
- ④：資料 4 ①で「設計項目」の評価に係る事項を整理し、既認可から変更がないことの説明を実施。

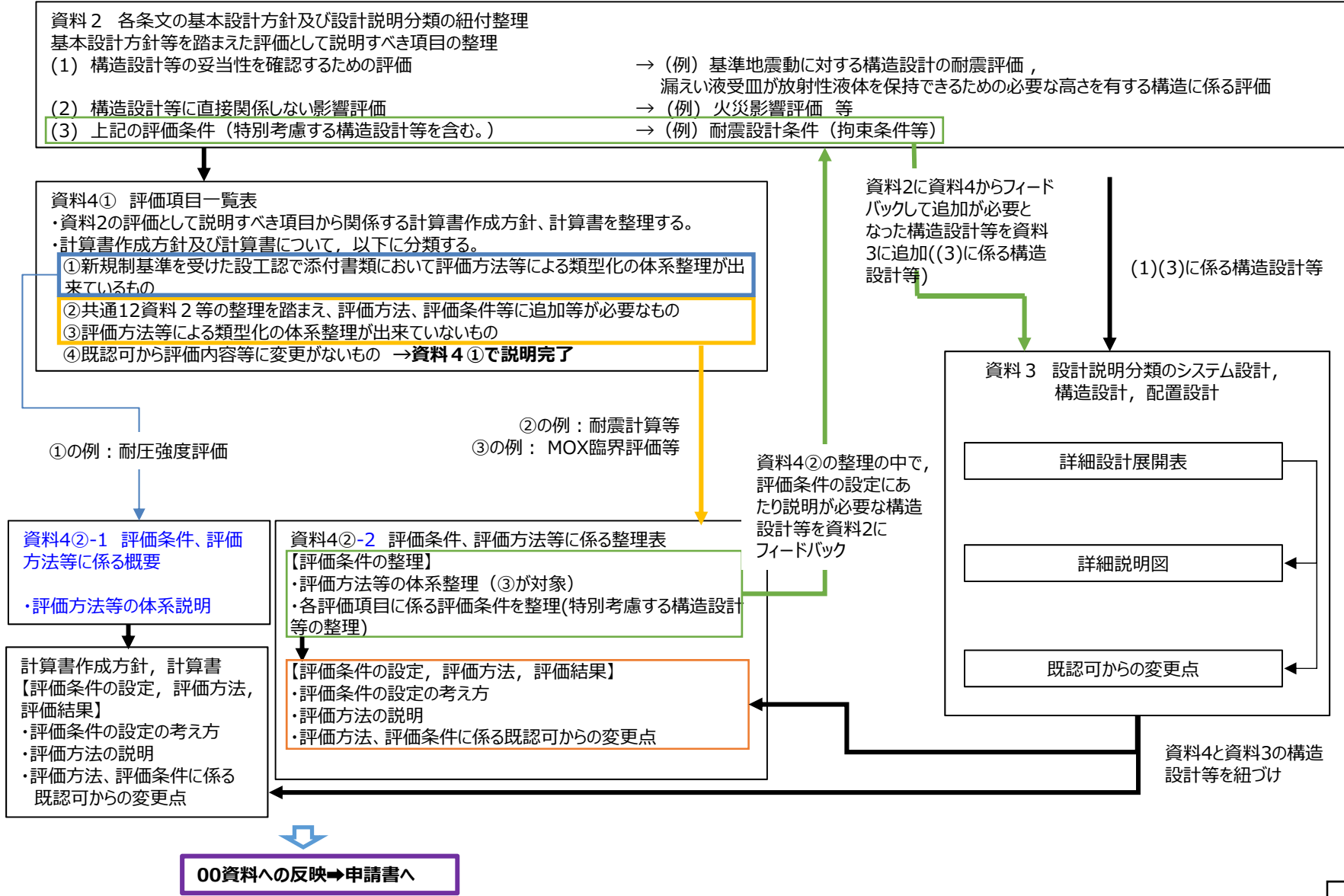
別添 2 共通 1 2 資料 4 に係る記載方針等の整理 (2/7)



- i. 資料 2 を用いて、各条文における評価として説明すべき項目（(1)構造設計等の妥当性を確認するための評価、(2)構造設計等に直接関係しない影響評価、(3)評価条件（特別考慮する構造設計等）を基本設計方針等の設計方針から抽出する。
- ii. 資料 4 ①において、上記(1)(2)(3)から、資料 4 で説明が必要な計算書作成方針、計算書を整理する。また、当該計算書作成方針、計算書について、前頁に示す4つのパターンに分類する。パターン④は資料 4 ①の中で既認可から変更がないことを示して説明を完了する。
- iii. 資料 4 ①で整理したパターン①については、計算書作成方針及び計算書について体系整理ができていることから、資料4②-1において、評価方法等の体系の概要説明を行い、計算書作成方針及び計算書を使用して、評価条件の設定の考え方等を説明する。
- iv. 資料 4 ①で整理したパターン②③については、資料 4 ②-2において評価方法等の体系整理、評価条件の整理を行う。評価条件の設定において、構造設計等として資料 3 で説明が必要な評価条件は、資料2にフィードバックをかけ、資料 3 を作成し、資料 4 の評価条件と紐づける。
- v. パターン②③については、上記 iv. の整理と合わせて、評価条件の設定の考え方等を説明する。



# 別添 2 共通 1 2 資料 4 に係る記載方針等の整理 (4/7)



## 設定根拠説明書の整理方針

- 「設備別記載事項の設定に関する説明書」（以降「設定根拠説明書」という。）は、仕様表又は基本設計方針に記載した仕様（基本設計方針は個数）のうち「容量，最高使用圧力，最高使用温度，個数，伝熱面積，揚程又は吐出圧力，原動機の出力量，外径，口径及び除去効率」の設定根拠について説明を行う添付書類である。
- 設定根拠説明書で説明を行う仕様は、発電炉の設定根拠説明書の説明対象となる仕様を参考に設定しており、加工施設特有の性能仕様(発電炉にない仕様表仕様)は、加工施設の技術基準の適合性をもとに抽出されるものであることから、対応する各条文の添付書類においてその根拠を説明することとしている。（グローブボックスの漏れ率等）
- このため、資料 4 においての説明の観点で、設定根拠説明書の各仕様の設定根拠の説明内容は、3つに分類される。
  - 基本設計方針等の適合性に係る評価について説明しているもの
  - 計算書の評価条件が仕様表の仕様から設定されており、その仕様の設定根拠を説明しているもの
  - 基本設計方針等の適合性の評価において、直接関連がない仕様について設定根拠の説明であるもの
    - 例：消火剤量の評価  
(なお、火災の添付書類において設定根拠説明書と同様の説明を実施しており、資料4は火災の添付書類を用いて実施することを考えている。設定根拠説明書のみで説明しているものがあるか確認中。)
    - 例：耐圧強度計算書の最高使用圧力・温度等
    - 例：加工装置等の加工運転に必要な個数等
- 今回申請の設定根拠説明書の内容を確認し、各設定根拠の説明を(1)～(3)に分類し、資料 4 は(1)及び(2)を対象に整理を行う。
- (1) の分類については、計算書作成方針、計算書と同様のため、資料 4 ①の評価項目と紐付けし、同様な評価を集約して、代表を決めた上で、資料 4 ②- 2 で類型整理を行う。(2) の分類は、計算書と紐付けを行い、当該計算書の資料 4 ②-2の中で、評価条件の設定根拠として明確化する。
- なお、現時点で、(1)については、基本的に、基本設計方針等に基づく適合性の評価は、各条文の添付書類で説明しており、設定根拠説明書における説明内容は各条文の添付書類の評価結果を呼び込む又は各条文の添付書類と同様な評価の説明を記載している。このため、(1)として資料 4 において展開される設定根拠があるかについて、整理・確認を進めている。

## 別添 2 共通 1 2 資料 4 に係る記載方針等の整理 (6/7)

- 前頁に示す設定根拠の説明内容ごとの分類の整理については、資料 4 ①別紙として実施する。
- 資料 4 ①別紙では、設定根拠の仕様ごとに「該当する設定根拠説明書」「分類」「評価項目」「関連する添付書類」の情報を整理し、資料 4 ①に引き渡す。
- 資料 4 ①では、資料 4 ①別紙の情報をもとに、「(1)基本設計方針等の適合性評価に係る設定根拠」については、評価項目を代表で説明する添付書類の整理、「(2)評価条件に係る設定根拠」については、評価条件に係る計算書等と設定根拠説明書の仕様との紐付を行う。

資料 4 ①別紙 (検討中の整理表案)

説明グループ1(MOX)

設計説明分類	機種	設定根拠説明書	設定根拠の説明項目	設定根拠の説明内容の分類	設定根拠の説明内容の分類に対する考え	関連する評価項目	関連する添付書類	評価の説明Gr
グローブボックス(オープンポートボックス、フードを含む。)	核物質等取扱ボックス	【V-1-1-3-1】設備別記載事項の設定根拠に関する説明書(被覆施設)	個数	(3)基本設計方針等の適合性の評価に直接係らない設定根拠	核物質等取扱ボックスの個数は、核燃料物質等を閉じ込めるために、核物質等取扱ボックス内に設置する装置を収納するために必要な個数であり、基本設計方針等の適合性の評価に直接係らない設定根拠である。	-	-	-
		【V-1-1-3-3】設備別記載事項の設定根拠に関する説明書(核燃料物質の貯蔵施設)	(漏えい液受皿) 最高使用圧力	(2)評価条件に係る設定根拠	強度評価条件として使用する仕様であるため、評価条件に係る設定根拠である。	容器の構造強度	【IV-1-1】強度に関する設計の基本方針 【IV-1-2】強度評価方針 【IV-1-3-1】評価条件整理表及び評価項目整理表作成の基本方針 【IV-1-3-2】公式による強度評価書作成の基本方針 【IV-2-1】評価条件整理表及び評価項目整理表 【IV-2-2-1】容器の強度計算書	3
		【V-1-1-3-4-2】設備別記載事項の設定根拠に関する説明書(液体廃棄物の廃棄設備)	(漏えい液受皿) 最高使用温度	(2)評価条件に係る設定根拠	強度評価条件として使用する仕様であるため、評価条件に係る設定根拠である。			3

設計説明分類に属する設備の対応する仕様表の機種を記載する。

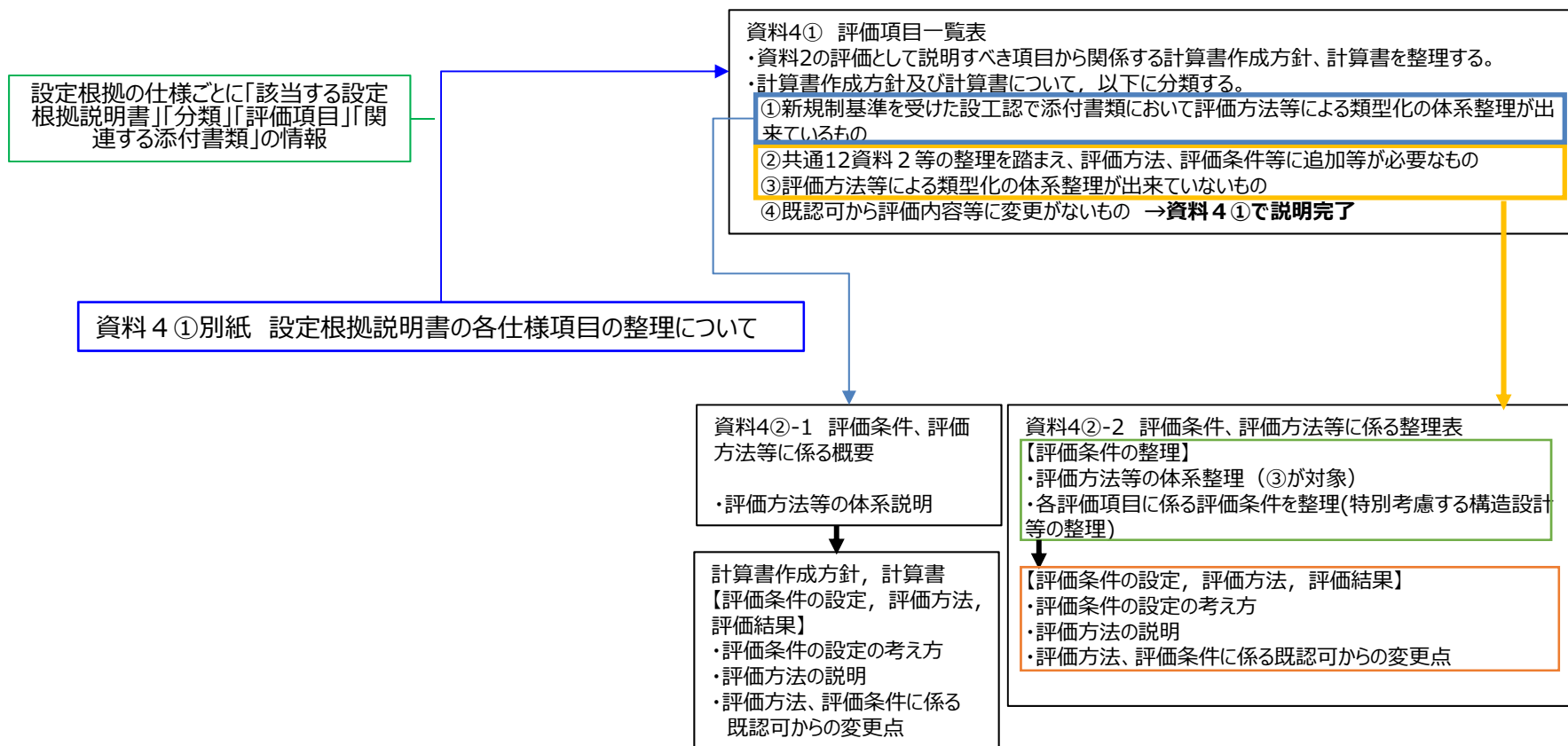
機種に対応する設定根拠説明書の情報を記載

設定根拠説明書を確認し、説明内容が前頁で示す分類のいずれに該当するか整理する。  
複数分類ある場合は、対象を明確にして並記して示す。

資料4①の評価項目及び添付書類と紐付ける。  
(2)評価条件の設定根拠の場合は、評価条件に関連する評価項目、添付書類を記載する。  
(1)基本設計方針等の適合性評価に係る設定根拠の場合は、評価項目を記載する。各条文の添付書類で同じ評価の記載をしている、又は設定根拠として各条文の添付書類の評価結果を呼び込みをしている場合は、当該添付書類名を記載する。

# 別添 2 共通 1 2 資料 4 に係る記載方針等の整理 (7/7)

## 資料 4 ①別紙を踏まえた資料 4 の構成



# 別添3 【MOX燃料加工施設 第2回設工認に係る説明進捗（1 / 2）】

条文	説明項目	1. 設計条件及び 評価判断基準	2. 具体的な設備等の設計、3. 具体的な設備等の設計と評価判断基準との照合	
			2-1:システム設計、構造設計等、 3-1:設計要求等との照合	2-2:解析、評価等、 3-2:評価判断基準等との照合
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     【凡例】 <span style="display: inline-block; width: 15px; height: 10px; background-color: #cccccc; border: 1px solid black;"></span> :説明済み  <span style="display: inline-block; width: 15px; height: 10px; background-color: #4a7ebb; border: 1px solid black;"></span> :今回説明対象                 </div>	
第4条 核燃料物質の臨界防止	<説明グループ3> 【臨界計算に係る運搬・製品容器の構造、形状】、【単一ユニット管理(質量管理)】、【単一ユニット管理(形状寸法管理)】、【ラック/ビット/棚の複数ユニットの構造設計】			
第5条、第26条 地盤 第6条、第27条 地震による損傷の防止	<説明グループ1> 【有限要素モデル:グローブボックス、B及びCクラスの設計方針】、【質点系モデル:ファン、標準支持間隔:配管・ダクト・ダンパ】 <説明グループ3> 【土木構造物】 <説明グループ5> 【常設耐震重要重大事故等対処設備、常設耐震重要重大事故等対処設備以外】			
第8条 外部からの衝撃による 損傷の防止	<説明グループ2> 【防護対象施設の配置】 【換気設備の竜巻の構造強度設計、換気系のばい煙等の建屋内侵入防止、避雷設計等】			
第10条 閉じ込め	<説明グループ1> 【閉じ込め機能】、【容器落下】、【負圧維持等に係る換気設計】 <説明グループ3> 【閉じ込め(グローブボックス以外)】、【漏えい拡大防止】、【負圧維持(洞道)】			
第11条、第29条 火災	<説明グループ2> 【消火設備】、【火災区域貫通部の延焼防止対策(ダンパ)】、【消火を支援するダンパ】、【火災区域貫通部の延焼防止対策(シャッタ)】、【不燃材、難燃材の使用】、【可燃性微粉・火花発生対策】、【水素滞留・油内包設備等に係る換気、系統分離対策等】 <説明グループ3> 【ドレン系統の煙流入等】、【洞道の火災区域・火災区画】			
第12条 溢水	<説明グループ3> 【洞道の地下水の流入が生じ難い構造】、【防護対象施設の機能喪失高さ】、【溢水により安全機能を損なわない構造】			
第14条 安全機能を有する施設	<説明グループ1> 【内部発生飛散物】、【地下階への設置】 <説明グループ3> 【共用に伴う負圧管理等】 <説明グループ4> 【その他加工施設の構成】、【施設共通方針】			

# 別添3 【MOX燃料加工施設 第2回設工認に係る説明進捗（2 / 2）】

条文	説明項目	1. 設計条件及び 評価判断基準	2. 具体的な設備等の設計、3. 具体的な設備等の設計と評価判断基準との照合	
			2-1:システム設計、構造設計等、 3-1:設計要求等との照合	2-2:解析、評価等、 3-2:評価判断基準等との照合
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     【凡例】 <span style="display: inline-block; width: 15px; height: 10px; background-color: #cccccc; border: 1px solid black;"></span> :説明済み  <span style="display: inline-block; width: 15px; height: 10px; background-color: #6699cc; border: 1px solid black;"></span> :今回説明対象                 </div>	
第15条、第31条 材料及び構造	<説明グループ3> 【構造計算で示す設備、設計方針で示す設備】			
第16条 搬送設備	<説明グループ1> 【落下、転倒防止】			
第17条 核燃料物質の貯蔵施設	<説明グループ1> 【崩壊熱除去に配慮した構造】、【貯蔵施設の換気】 <説明グループ3> 【崩壊熱除去に配慮した構造】、【貯蔵能力等】			
第18条 警報設備等	<説明グループ2> 【自動回路に係る設計】 <説明グループ4> 【警報に係る設計】			
第20条 廃棄施設	<説明グループ1> 【気体廃棄】 <説明グループ3> 【液体廃棄】			
第21条 核燃料物資等による 汚染の防止	<説明グループ3> 【洞道の塗装】			
第22条 遮蔽	<説明グループ4> 【遮蔽体の設計】			
第23条 換気設備	<説明グループ1> 【換気設備】			
第30条 重大事故等対処設備	<説明グループ5> 【健全性、1.2Ss等】			
第33条 閉じ込める機能の喪失	<説明グループ5> 【外部放出抑制、代替グローブボックス排気】			

設工認等週間スケジュール

■：耐震 ■：共通・DB・SA ■：濃縮 ■：その他の面談/ヒアリング ■：審査会合関係

		10月				
月日	2	3	4	5	6	
	月	火	水	木	金	
AM		10:00~ 3Sに関する面談 ・3Sインターフェイスに係る検討の進め方		10:00~ 設計プロセスの運用改善状況に関する面談 ・事業部間整合を踏まえた設計審査委員会の運用、事業変更許可申請書記載事項の整理等	10:00~ (再/廃) 入力地震動の策定に係るヒアリング 【対面希望】 ・耐震建物08	
PM			13:30~ (再/廃/M) 審査会合資料ヒアリング 【対面希望】 ・審査会合資料(案)	13:30~ (再/廃/M) 共通12に関するヒアリング ・溢水における構造設計等と解析・評価等で示す事項の整理、DB/SAの類似となる設計方針の整理方針 ・電巻(説明の類型化、代表による説明に係る整理) ・共通12 本文、参考資料等	13:30~14:30 (再/廃/M) 今後の進め方に関するヒアリング 【対面希望】 ・今後の進め方(全体の進め方等) 14:30~ (再/廃) 入力地震動の策定に係るヒアリング 【対面希望】 ・耐震建物08	
資料提出予定	・溢水における構造設計等と解析・評価等で示す事項の整理、DB/SAの類似となる設計方針の整理方針 ・電巻(説明の類型化、代表による説明に係る整理) ・3Sインターフェイスに係る検討の進め方(AM) ・耐震建物08(AM)	・審査会合資料(案) ・共通12 本文、参考資料等(再処理施設等の設計説明分類、説明グループに係る反映等)	・共通12における作成方針(構造設計等として示す設計内容のポイントとした点や留意事項などを纏めた資料)	・今後の進め方(全体の進め方等)		
		10月				
月日	9	10	11	12	13	
	月	火	水	木	金	
AM			10:00~ (再/廃/M) 審査会合資料ヒアリング 【対面希望】 ・審査会合資料(案)			
PM	スポーツの日	13:30~※6日で確認が終了しない場合 (再/廃) 入力地震動の策定に係るヒアリング 【対面希望】 ・耐震建物08			審査会合希望	
資料提出予定		・審査会合資料(案)(AM)	・共通12本文、参考資料等(10月5日ヒアを踏まえた修正案)(AM) ・共通12(MOX 説明グループ1)資料1~3 修正案(9月15,27日ヒアを踏まえた修正)(AM) ※10日に間に合えば提出	・審査会合資料 ・共通12(MOX 説明グループ1)に係る個別補足説明資料		
		10月				
月日	16	17	18	19	20	
	月	火	水	木	金	
AM						
PM	13:30~ (再/廃/M) 今後の進め方に関するヒアリング 【対面希望】 ・今後の進め方(全体の進め方等)				13:30~ (再/廃/M) 今後の進め方に関するヒアリング 【対面希望】 ・今後の進め方(全体の進め方等)	
資料提出予定	・今後の進め方(全体の進め方等)(AM)			・耐震建物08(減衰定数(西側地盤))	・今後の進め方(全体の進め方等)(AM)	

		10月				
月日	23	24	25	26	27	
	月	火	水	木	金	
AM					10:00~ (再/廃/M) 今後の進め方に関するヒアリング 【対面希望】 ・今後の進め方 (全体の進め方等)	
PM					13:30~ (再/廃) 入力地震動の策定に係るヒアリング 【対面希望】 ・耐震建物08 (減衰定数 (西側地盤))	
資料提出予定	・共通12本文、参考資料等 (10月5日ヒアを踏 まえた修正版) (AM) ・共通12 (MOX 説明グループ1) 資料1~3 修正版 (9月15,27日ヒアを踏まえた修正)			・今後の進め方 (全体の進め方等)	・共通12本文、参考資料 (10月17日のヒアを 踏まえた修正) ・共通12 (MOX 説明グループ1) 資料1~ 3 (10月17日のヒアを踏まえた修正) ・共通12 (MOX 説明グループ1) に係る個別 補足説明資料 (10月17日のヒアを踏まえた修 正)	
		10月/11月				
月日	30	31	1	2	3	
	月	火	水	木	金	
AM				10:00~ (再/廃/M) 今後の進め方に関するヒアリング 【対面希望】 ・今後の進め方 (全体の進め方等)	文化の日	
PM				13:30~ (再/廃/M) 共通12に関するヒアリング ・共通12本文、参考資料 (10月17日のヒアを 踏まえた対応) ・共通12 (MOX 説明グループ1) 資料1~ 3 (10月17日のヒアを踏まえた修正) ・共通12 (MOX 説明グループ1) に係る個別 補足説明資料 (10月17日のヒアを踏まえた修 正)		
資料提出予定			・今後の進め方 (全体の進め方等)			
		11月				
月日	6	7	8	9	10	
	月	火	水	木	金	
AM					10:00~ (再/廃/M) 今後の進め方に関するヒアリング 【対面希望】 ・今後の進め方 (全体の進め方等)	
PM						
資料提出予定				・今後の進め方 (全体の進め方等)	・耐震建物08	